

平成29年度 政策づくり塾

地域公共活動報告会・修了式（第10回活動）

一年間の塾活動の集大成として、塾生が企画・実践した公共活動についての報告と今後に繋げていくための提案を発表する「地域公共活動報告会」を開催。塾生の職場の上司や同僚など約50名が聴講に來られ、熱のこもった発表に聞き入りました。その後、修了式が行われ、市長から塾生へ修了証が渡されました。

地域活動報告会

「みんなで作ろう、舞鶴名産ガチャ!!～新たな名産品PR方法の模索～」グループ（山中・長岡・土田・池嶋）



自分たちの故郷に愛着や誇りを持ってもらうため、小学生を対象に舞鶴の名産品について認識を深めてもらうワークショップを開催。ワークショップで作成した名産品をモチーフにしたキーホルダーを「ガチャガチャ」を使って観光客に配布することで、舞鶴のPRを実施。

◆提案…ガチャガチャでのPRの可能性。①ワークショップ型②委託型③製品化といった手法により継続して実施。

◆活動での気づき…既存のやり方以外のPR方法も効果があることを実証できた。「ガチャガチャ」のような遊び心のある手法の模索が必要。

「Let's Enjoy PAPA!!」グループ（山本・岸田・塩見）

パパと子を対象とした「遊び」がテーマのイベントを開催することで、子どもと一緒に遊び、学び、他のパパたちとも交流しながら「パパ」であることをもっともっと楽しんでもらいたいという思いからイベントを実施。

◆提案…今後も定期的にイベントを実施。パパの育児を「市の政策」として多角的に捉えていくべき。

◆活動での気づき…育児に無関心な層でも実際に体験することで関心層へと変わっていく。もっともっと働きかけていくことが必要。



「舞スタグラムキャンペーン～舞鶴よいところ見つけ隊～」グループ（吉岡・齊藤・岩本・千坂・山下）



市民及び市外の人に、舞鶴の良いところを探して写真を撮ってもらうことで、舞鶴に興味を持ち、良いところを認識してもらうきっかけづくりとする。また、市内外への発信力のあるツールを使って舞鶴をPRするため、インスタグラムを活用したフォトコンテストを実施。

◆提案…インスタグラムを積極的に活用することで、効率的な情報発信、新たな客層へのアプローチ、分析機能による戦略的な広報の検討材料とすることができる。

◆活動での気づき…市民参加型のキャンペーン（イベント）を実施することで、写真投稿者は「舞鶴の広報マン」の一人となり、まち全体で舞鶴を盛り上げることができる。

【市長の講評】

いずれのグループも舞鶴をより良いまちにするにはどのようなことをすべきかを考えて行動していただいた。「ガチャグループ」については、地方創生の原点である教育にも触れ、子どもの郷土愛を高めて地元へ愛着をもってもらうために非常に良い取組だと感じた。「エンパグループ」については、パパの育児を市の施策として多角的に捉えていくことはまさにその通りであり、「乳幼児教育のまち舞鶴」を掲げている中で大変良いテーマをいただけたと思う。「フォトグループ」については、舞鶴をPRする戦略的な広報のあり方についてヒントをいただき、また、舞鶴の魅力を発信してくれたことに感謝申し上げたい。どのグループも素晴らしい活動であり、今後、市の取組として応用できることは応用していきたい。

【塾長の講評】

「ガチャグループ」については、小学生を対象としたワークショップは有意義な体験であり、キーホルダーによる観光客へのPRも手応えがあったと思う。本報告において活動に伴う収支を細かく示してもらえた点も良かった。「エンパグループ」については、先進事例の調査やアンケートによる実態調査をしっかりとらうことで企画を練られた点が非常に良かった。「フォトグループ」については、立派な写真をたくさん集めることができ素晴らしい取組であった。投稿状況の分析に取り組んだことも評価したい。

修了式

《窪田塾長あいさつ》

ほぼ1年に渡った活動も本日が最終回となりました。グループワークを行うにあたり、楽しみながらも色んな葛藤があったと思うが、良い経験になったのではないのでしょうか。

まちづくりや政策の実現には、様々なセクターの人と関わる必要がある。この政策づくり塾においては、セクターを超えて一緒に第一歩を踏み出すこと、活動を通じてお互いへの関心、尊敬をもって理解し合いながら成長してもらいたいとの思いで実施しています。自分自身でアンテナを張って学ぶことは大事だが限界もあります。今回知り合った仲間や塾生のOB・OGネットワークを活用し、お互い刺激し合いながら共に舞鶴を良くしていただけたらと思います。

今回の経験を仕事や公共活動に活かし、色んな取組に参加してみるなど、これからも学び続けて経験を積んでいただきたいと思います。1年間お疲れさまでした。



《市長あいさつ》



今日まで10回に及ぶ活動において、様々な研修や議論、体験を重ねられ今日の修了式を迎えられました。こうして、新たな公共人材をこの塾から輩出できたことを大変うれしく思います。

皆さんの取組を大変興味深く聞かせていただきました。各グループとも私が市政運営で力を入れている地方創生の推進に係る活動を実施し、本日、素晴らしい発表をしていただきました。

この政策づくり塾で学び、実践して得た経験と塾生同士の絆を大切にしてください。舞鶴に住んでいる人々が自分のまちに誇りを持ち、生き生きと暮らしていける、そんなまちにできるよう、これからも皆さんの力をお借りしたいと思います。

お借りしたいと思います。

まちづくりは行政だけでなく、みんなで取り組まないとできません。また、政策づくり塾に様々な団体の皆さまに参加いただけるのも、職場や上司の方のご理解があつてのことです。引き続き、様々な取組に関与いただき、我々のまちを共に盛り上げていただきたいと思います。

「政策づくり塾」は舞鶴版の人材育成として引き続き7期生を募集して新たな活動に入ります。市民の皆さんや各団体の皆さんと一緒に全員野球でまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

《修了証授与》

第6期政策づくり塾生は一年間の活動を終え、市長から修了証が授与されました。皆さんの成長された姿と笑顔が印象的でした。

